

自己紹介

はじめまして。青年海外協力隊として2025年1月から南米のコロンビアに派遣されている板 華子（いたはなこ）です。県西部の南部町出身です。これまでソーシャルワーカーとして障害福祉分野で経験を積んできました。日本から見て地球の反対側にあるコロンビアで、ソーシャルワーカーとして色々な経験が出来ることを楽しみにしています。



○「PAISA」って？

私の住んでいるメデジン市で使われている言葉で、「地元の人」という意味です。2年間で私も「PAISA」の仲間入りしたいという想いを込めてこのタイトルにしました。

コロンビア/ メデジン市



1/7に日本を出発。アメリカで1回乗り継ぎをし、合計約30時間で首都ボゴタに到着。語学学校での勉強や安全対策の講義等を受けた後、1/30に任地となるメデジン市に到着しました。メデジンはコロンビア第2の都市で人口260万人の大都会です。交通機関も発達しています。気候は年間通して16~28℃と温暖で、過ごしやすいです。一年中美しい花々を見ることが出来、毎年8月には花祭りという有名なお祭りもあります。優しく世話好きの方が多く印象です。

配属先

私の配属先は、メデジン市役所の障害福祉チームです。ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、医師、弁護士等多職種のチームで、障害のある方やその家族のより良い生活のために様々なプロジェクトを行っています。

チームワークが良く和やかな職場です。猫が2匹居て毎日癒してくれています。

PAISA

~ コロンビア日記 ~

Vol.1

2025.2.25

板 華子



果物いろいろ

私のふるさと南部町では柿をはじめ色々な果物が栽培されています。きっと南米の果物にも興味を持ってくださる方もおられるだろうと、珍しい果物を紹介していきたいと思っています。

まず初回はこれ、グラナディージャです。パッションフルーツの1種で柔らかい皮を手でむいて中身を食べます。プルプルした果肉とパリパリした種を一緒に食べる食感が面白く、適度な酸味・甘味でとても美味しいです。



Política Pública
para la **Inclusión de las**
Personas con **Discapacidad**
del Municipio de Medellín

言語

コロンビアの公用語はスペイン語です。南米はスペイン語の国が多いですが、同じスペイン語でもその国や地域でしか使われない単語が多くあります。毎日大量の新しい言葉に四苦八苦していますが、多くの方々と交流して出来るだけ楽しみながら学習を続けていきたいと思っています。

所感

コロンビアは長年続いた内戦下でも経済成長を続けて来た国で、技術の高さや利便性に驚くことも多くあります。その一方で、この国の格差の大きさを日々感じています。特にメデジン市は温暖な気候で過ごしやすいということもあり、路上生活者を至る所で見かけます。市としてもそういった方々への食糧の支給や職業訓練等を行っています。保有する資源に対して支援を必要とする人々の数が多すぎて、十分な支援とはいえず状況です。市は山に囲まれており坂や階段が多く、日本で育った私には信じられないような環境で身体障害のある方が生活されていたりもします。困難の大きさに圧倒されますが、少しでも力になれることを探していきたいです。

板 華子（いた はなこ）

コロンビア・ソーシャルワーカー・南部町出身

Instagramも時々更新しています。

右のQRコードよりご覧ください。

アカウント: hana_en_col



@HANA_EN_COL